# 2025年度メディカルサイエンスカフェ実施報告

| | | |
|---|---|---|
| 第１回 | 実施日 | 4月18日(金)　8：40～9：40 |
| | 場所 | 基礎研究棟第4講義室 |
| | 講師<br>演題 | 黒田 啓介先生<br>名古屋大学大学院医学系研究科卓越大学院・医学研究者養成推進室　准教授<br>「論文の読み方セミナー」 |
| | 参加者数 | 68人 |
| | 参加学生の声 | ・今後大学生活で医学を学んだり研究活動に携わっていく上で論文を読む機会は多いと思うので、初めの授業にて論文の読み方を知れてよかった。これからは論文を読む際に、その論文は本当に正しいか、矛盾点はないか懐疑的に読むとともに、信用できる論文かソースを丁寧に確認するようにしたい。 |
| 第２回 | 実施日 | 4月25日(金)　8：40～9：40 |
| | 場所 | 基礎研究棟第4講義室 |
| | 講師<br>演題 | 久保田晋平先生<br>名古屋大学大学院医学系研究科腫瘍病理学　特任講師<br>「生命システムの制御を目指して」 |
| | 参加者数 | 45人 |
| | 参加学生の声 | ・自分が観察したいことを調べるために新たな技術を開発するところに、研究を進めていくにあたって自分で切り開いていく面白さがあるのだろうと実感しました。また、海外留学やインターンを含め、やる気があれば自分でいくらでも様々なことに挑戦できることが大変魅力的だと思いました。積極的に自分の興味の向く方向にさまざまなアクションを起こしていきたいと感じました。 |
| 第３回 | 実施日 | 5月9日(金)　9：20～10：50 |
| | 場所 | 基礎研究棟第4講義室 |
| | 講師<br>演題 | 勝野雅央先生<br>名古屋大学医学部長・神経内科学　教授<br>「世界が変わる 自分が変わる 医学研究の魅力」 |
| | 参加者数 | 50人 |
| | 参加学生の声 | ・本日の講演で特に印象に残った内容は、SBMAに関する研究手法です。今まで臨床系の研究に関してのイメージが漠然としており、今日の講演で勝野先生のお話を伺ったことによってより具体化したイメージを持つことができました。また、途中の問いかけにもあった自分だったらどのように研究を行うかに関しては、今後論文などを読む際にも常に心がけるようにしたいと思います。 |
| 第４回 | 実施日 | 5月16日(金)　8：40～9：40 |
| | 場所 | 基礎研究棟第4講義室 |
| | 講師<br>演題 | 橋詰淳先生<br>名古屋大学大学院医学系研究科臨床研究教育学　教授<br>「この学びが明日の医療を変える　ー 医薬品・医療機器開発のはじめの一歩 ー」 |
| | 参加者数 | 32人 |
| | 参加学生の声 | ・研究についてその意義や種類などわかりやすく説明していただいてとても有益だった。スライドが洗練されていて参考になった。<br>・臨床研究の進め方についての話題は臨床研究を行いたいと思っている自分にはとても有益な話でした。 |

| | | |
|---|---|---|
| 第５回 | 実施日 | 5月23日(金)　9：20～10：50 |
| | 場所 | 基礎研究棟第4講義室 |
| | 講師<br>演題 | 松尾恵太郎先生<br>愛知県がんセンター研究所　がん予防研究分野長<br>「がんを疫学する」 |
| | 参加者数 | 37人 |
| | 参加学生の声 | ・お酒を飲める飲めないを決める遺伝子とその人が飲む量ががんの発現率にどのように影響するかについての説明が印象的だった。医学研究というと治療法の開発と思いがちだが、疫学ではがん等が起こる要因を見つけ出すことができ病気の予防につながるためとても大切な学問だと思った。 |
| 第６回 | 実施日 | 5月30日(金)　9：20～10：50 |
| | 場所 | 基礎研究棟第4講義室 |
| | 講師<br>演題 | 鍋倉宰先生<br>愛知県がんセンター研究所　腫瘍免疫応答研究　分野長<br>「ナチュラルキラー細胞生物学とがん免疫療法への応用」 |
| | 参加者数 | 29人 |
| | 参加学生の声 | ・私はNK細胞の受容体のお話が特に印象に残りました。がん細胞をグラデーションで認識するという受容体についてもっと知りたいと思いました。また、鍋倉先生が現在行われているNK細胞とがん治療に関する研究も臨床からのトランスレーショナルな愛知がんセンター研究所の特性を活かした研究だったため、興味深かったです。 |
| 第７回 | 実施日 | 6月13日(金)　9：20～10：50 |
| | 場所 | 基礎研究棟第4講義室 |
| | 講師<br>演題 | 「先輩の体験談」<br>◆お話いただく先輩方<br>羽場　ほのかさん　4年　分子生物学所属<br>鷲澤　拓登さん　4年　ウイルス学所属<br>松尾　日菜子さん　4年　細胞生物学所属<br>劉　哲男さん　4年　データ駆動生物学所属<br>小林　芽生さん　4年　国際保健医療学公衆衛生学所属 |
| | 参加者数 | 24人 |
| | 参加学生の声 | ・このまま講義や試験を受けるだけでは他の人と何も変わらない医者になってしまうと言う話が印象的だった。何か行動を起こすべきだと思うようになった。<br>・まだ所属したい研究室ややってみたい研究テーマが決まっていないので興味は知識のある範囲からしか生まれないという言葉がすごく印象に残り、とりあえず挑戦してみたいと思います。 |
| 第８回 | 実施日 | 6月27日(金)　8：40～9：40 |
| | 場所 | 基礎研究棟第4講義室 |
| | 講師<br>演題 | 笠井淳司先生<br>名古屋大学環境医学研究所・システム神経薬理学　教授<br>「脳研究と私のキャリアストーリー」 |
| | 参加者数 | 54人 |
| | 参加学生の声 | ・原因が特定できていない病気に対する薬剤を使用するのは医師患者双方にとって危険なように感じた。脳というブラックボックスの治療という点では仕方ないかもしれないが。心理学・神経科学はどちらか一方では不十分で、手を取り合わなければならないと思っていたので、後半の話は共感できた。 |

| | | |
|---|---|---|
| 第９回 | 実施日 | 10月31日(金)　14：25～16：15 |
| | 場所 | 基礎研究棟1階会議室2 |
| | 講師<br>演題 | 医学部医学科6年<br>亀井温那・鬼頭和秀・國島志穂<br>ボストン製薬企業サマーインターンシップ報告会 |
| | 参加者数 | 17人 |
| 第10回 | 実施日 | 11月5日(水)　13：00～14：30 |
| | 場所 | 基礎研究棟1階会議室1 |
| | 講師<br>演題 | 深井昌克先生<br>名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部　メディカルイノベーション推進室<br>特任教授<br>「火星での医療を考える」 |
| | 参加者数 | 10人 |
| 第11回 | 実施日 | 12月3日(水)　13:00～14:30 |
| | 場所 | 基礎研究棟1階会議室1 |
| | 講師<br>演題 | 今泉先生<br>名古屋大学大学院医学系研究科臨床研究教育学　講師/慢性腎臓病臨床疫学<br>「臨床医しか考えていなかった私が研究者・教育者になったワケ」 |
| | 参加者数 | 7人 |
| 第12回 | 実施日 | 12月17日(水)　13:00～14:30 |
| | 場所 | 基礎研究棟1階会議室1 |
| | 講師<br>演題 | 大山 慎太郎 先生<br>未来社会創造機構 予防早期医療創成センター 准教授・手の外科学<br>「医療におけるIoT（IoMT）の展望」<br>古川 大記 先生<br>名古屋大学医学部附属病院 メディカルITセンター 講師・副センター長<br>呼吸器内科学<br>「医療AIの今　ー現場で起きていること、次に来ること」 |
| | 参加者数 | 12人 |